

令和7年度北九州市公立学校教員採用候補者選考試験 第二次試験における日程及び試験内容等について

第二次試験における日程及び試験内容等については、以下のとおりです。

1 受験者共通事項

※マスクの着用は個人の判断でお願いします。水分補給のための飲み物をご準備ください。

(別途「令和7年度北九州市公立学校教員採用候補者選考試験(第二次試験)の受験に係る
注意事項・振替試験等について」を必ずご確認ください)

※第二次試験期間中のいずれか1日間もしくは2日間が受験日となります。2日間試験がある
受験者について、片方みの受験は認められません。

※複数免許所有者特別選考で受験する方は、試験区分と合わせて併願先も受験ください。

※集合時刻については、「集合時刻確認表」を必ず確認してください。

(1) 模擬授業・集団討議

【実施日：試験期間のうち、指定する1日】【実施場所：北九州市立城南中学校】

対象となる試験区分	試験内容・課題等	持参物
全区分	・ 模擬授業 ・ 集団討議	・ 受験票 ・ 室内履き及び下足袋 ・ 返信用封筒1通 【下記「参考」を参照】

模擬授業(概要)

- 6人程度を1グループとした、集団での模擬授業を行います。
- 試験会場入室後、与えられた問題を基に、授業構成メモを10分間で作成してください。
(問題によっては、同時に資料を配布することがあります。)
なお、作成した授業構成メモは、持ち帰ることができません。
- 試験区分ごとの出題教科等は次のとおりです。

試験区分	出題教科等
小学校教員 (小中一貫校を含む)	国語(第4学年・第5学年・第6学年のうちいずれか) 算数(第4学年・第5学年・第6学年のうちいずれか)
中学校教員	特別活動「学級活動」
特別支援学校教員	知的障害である児童生徒に対する教育を行う 特別支援学校の各教科(算数科)
養護教員	特別活動「学級活動」

- 教師役の模擬授業の一人あたりの持ち時間は5分間です。事前に作成した授業構成メモに基づき「導入」から授業を進めてください(始業のあいさつは除く)。所定の時間が経ったら試験官からやめるよう指示があります。授業を5分間にまとめる必要はありませんのでご注意ください。
- 教師役は必ず、黒板を用いて板書を行ってください。但し、使用できる教具は、黒板、チョーク、定規に限ります。
- 教師役の受験者以外は、児童生徒役となります。これらを含め、30~40人程度の児童生徒がいる想定で授業を行ってください。特別支援学校教員については、3~5人の知的障害のある児童生徒がいる想定で授業を行ってください。

- 教師役は、児童生徒役を最低1～2回は指名し、発言を求めてください（※受験者以外の架空の指名については、お控えください）。児童生徒役は、教師役の指名により、短く発言（返答）してください。
- 児童生徒役の離席を伴うような指導は禁止します。
- 模擬授業終了後、板書事項を速やかに消してください。

集団討議（概要）

- 模擬授業終了後、同じグループで集団討議を行います。
- 討議直前、討議のテーマを記した用紙を配付します。用紙は、討議中の記録用紙として使用して構いません。なお、用紙は、持ち帰ることができません。
- 与えられたテーマに沿って討議を進め、最終的にグループとしての結論をまとめ、発表します。
- 討議時間は結論の発表を含め、5分間×人数です。目安として、5分ごとに合図を出します。
- 集団討議の進め方や役割分担の決定については、全て受験生に任せます。

（2）個人面接【実施日：模擬授業・集団討議と同日】[実施場所：北九州市立城南中学校]

対象となる試験区分	試験内容・課題等	持参物
全区分	・個人面接	・受験票

2 実技試験

（1）理科実技【実施日：7/21（日）】[実施場所：北九州市立城南中学校]

対象となる試験区分	試験内容・課題等	持参物
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教員（小中一貫校）【理科】 ・中学校教員【理科】 ・特別支援学校教員（中学部）【理科】 <p>※ 中学校併願者のみ</p> <p>※ 「複数免許状所有者特別選考」受験者のうち上記が併願先となる者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 演示実験 <p>（実験課題は、中学校理科第3学年の実験の中から当日指定）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白衣 ・ 筆記用具（鉛筆、消しゴム） <p>※当日白衣を忘れた場合は、受験不可（貸し借りなどは行わない）。</p>

理科実技試験（概要）

- 実技試験の時間は出入りの時間を含めて12分間。
- 目の前に生徒がいると仮定したうえで、演示実験を行う。その際、必要に応じて安全指導も行う。
- 実技試験前に、10分間別室で課題を予見し、演示実験の構成等のメモを作成することができる。
- 試験官は、試験の開始と終了の合図以外の発言をしない。
- 別室で作成したメモは、試験終了後回収する。

(2) 英語実技【実施日：模擬授業・集団討議と同日】[実施場所：北九州市立城南中学校]

対象となる試験区分	試験内容・課題等	持参物
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校教員（小中一貫校）【英語】 ・ 中学校教員【英語】 ・ 特別支援学校教員（中学部）【英語】 <p>※ 中学校併願者のみ</p> <p>※ 「複数免許状所有者特別選考」受験者のうち上記が併願先となる者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語口述試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「一定の英語力を有する者への優遇措置」で、実技試験の免除を受ける方は、<u>事前に提出した資格を証明できる書類の写しの原本</u> <p>※ 持参が無い場合は「一定の英語力を有する者への優遇措置」を受けることはできません。</p> <p>※ 第一次試験で確認済みの方は、持参の必要はありません。</p>

(3) 美術実技 【実施日：7/21（日）】[実施場所：北九州市立城南中学校]

対象となる試験区分	試験内容・課題等	持参物
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校教員（小中一貫校）【美術】 ・ 中学校教員【美術】 ・ 特別支援学校教員（中学部）【美術】 <p>※ 中学校併願者のみ</p> <p>※ 「複数免許状所有者特別選考」受験者のうち上記が併願先となる者</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 絵画 (2) 工芸 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵の具セット (ポスターカラー、パレット、筆、水入れ) ・ 雑巾、タオル ・ 筆記用具 (鉛筆、シャープペンシル、消しゴムなど) ・ コンパス、定規 <p>※当日道具を忘れた場合は、<u>受験不可</u>（貸し借りなどは行わない）。</p>

(4) 音楽実技 【実施日：7/21（日）】[実施場所：北九州市立城南中学校]

対象となる試験区分	試験内容・課題等	持参物
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校教員（小中一貫校）【音楽】 ・ 中学校教員【音楽】 ・ 特別支援学校教員（中学部）【音楽】 <p>※ 中学校併願者のみ</p> <p>※ 「複数免許状所有者特別選考」受験者のうち上記が併願先となる者</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 共通 <ul style="list-style-type: none"> ・ 初見視唱（歌唱） ・ ピアノによる弾き歌い（視奏） (2) 選択 <ul style="list-style-type: none"> ・ 和楽器視奏 (箏、三味線、尺八、篠笛のうち、いずれか1つを選択) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 和楽器（三味線、尺八、篠笛、のうちいずれか。箏の場合は爪） ・ 和楽器視奏用楽譜（<u>自分用以外に2部提出</u>） <p>※当日楽器や道具などを忘れた場合は、<u>受験不可</u>（貸し借りなどは行わない）。</p>

(5) 保健体育実技 【実施日：7/20（土）】[実施場所：第一警備スポーツセンター戸畑]

※ ロッカーは100円投入式になりますのでご準備ください（解錠後返金されます）。

※ 1階総合入口を使用せず、外階段から直接2階へお入りください。

対象となる試験区分	試験内容・課題等	持参物
<p>・小学校教員(小中一貫校)【保健体育】</p> <p>・中学校教員【保健体育】</p> <p>・特別支援学校教員(中学部)【保健体育】</p> <p>※ 中学校併願者のみ</p> <p>※ 「複数免許状所有者特別選考」 受験者のうち上記が併願先となる者</p>	<p>(1) 共通</p> <p>・ラジオ体操第一</p> <p>・器械運動（マット運動）</p> <p>・球技（バスケットボール）</p> <p>(2) 選択</p> <p>・柔道、剣道、ダンス から1種目を選択</p> <p>※選択種目は、出願時 に受付済</p>	<p>・運動ができる服装</p> <p>ゼッケン(縦15cm×横20cm)に受験番号を太く・濃く書き、運動服 (胸と背)に、外れないように必ず縫い付けておいてください。※安全ピン留めは禁止</p> <p>・靴（体育館用）</p> <p>・飲み物（十分な量）</p> <p>※「柔道」選択者 用具一式。全日本柔道連盟の服装規定に準じたものを着用。 用具（背）に、「運動ができる服装」と同様にゼッケンをつけること。</p> <p>※「剣道」選択者 用具一式。面マスクとシールドを必ず用意すること。 ゼッケンは不要。</p> <p>※当日道具を忘れた場合は、受験不可（貸し借りなどは行わない）。</p>

※ 当採用試験における実技試験（体育実技）受験者については、損害保険に加入のため、志願書に記載の氏名等の個人情報を保険会社に提供します。

参考

返信用封筒の仕様

・ 返信用封筒（第二次試験結果通知用）は、右図のように書いてください。

・ 試験区分は第二次試験の試験区分を記入してください。

・ 254円切手を貼付してください。

・ 事務処理の手間を省くため、宛名の後には「行」や「宛」ではなく、必ず「様」と記入してください。

・ 指定された受験日（模擬授業・集団討議の日）に必ず持参してください。受付の際に回収いたします。

254円
切手

□ □ □ □ □ □ □

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

試験区分
○○○○

受験番号
○○○○

様

(235 mm × 120 mm)

すぐに封ができるよう両面テープ等を貼付しておいてください。

